

リズムニュース

米沢市立病院循環器科

第五号 2006年

ペースメーカーチェックでは何を見ているの？

ペースメーカー植え込み後は、年に2回のペースメーカーチェックを行ってありますが、いったい何を見ているのでしょうか。

胸部写真：ペースメーカーのリードが切れかかってないか。
心臓が大きくなってきてないか

心電図：ペースメーカーの動作が正常か。
今までに確認されていない不整脈が新たに出てないか。
現在の自分の脈にあった設定になっているか。

プログラマーによるチェック：

設定された動作がうまく作動していたかどうか。
途中何らかの理由で設定が変更されていないか
6ヶ月の間にどのくらい自分の脈がでていたか。
出力はこれまでの設定のままよいか、変更が必要か
(自分の脈を感知しているか、心臓を刺激する強さは十分か)
新しく出てきた不整脈に対応しているか
リードが切れかかってはいないか
電池はまだあるか

などを調べています。このため検査の途中で自分の脈が出るまでペーシングを遅くしたり、脈を早くして刺激の強さを変えたりしています。

6ヶ月に一度行うことでその時々々の心臓の状態や薬の影響による変化に対応しているのです。単に電池寿命を見ているだけではないので、ペースメーカーチェックは忘れず必ず受けましょう。



ペースメーカーチェックでは何を変えることができるの？

ペースメーカーの機種によって多少の違いはありますが、次のことについて設定を変えることができます。

- ・ 刺激の強さ（出力）や感度
- ・ 設定レート（最低の心拍数）
- ・ 心房細動などが起こったときの反応
- ・ 体の動きに反応して脈を早くしたり遅くしたりする機能の on off やその時の脈の上限下限 など

これらの変更のためには専門的な知識が必要ですが、ペースメーカーチェックの時しか出来ないわけではないので、何か不都合があればすぐに主治医に連絡するか、当院循環器内科を受診してください。

お知らせ

最近、X線を使った診断装置 CT により、ペースメーカーの誤作動が認められた患者さんの報告がありました。メーカー側の調査によるとペースメーカーを輪切りにするような断層撮影を 4 秒以上行った場合にのみ、この現象が現れるということです。その現象とは、

- 1、 その間ペースメーカーが動作しなくなる。 または
- 2、 脈がメーカーによって決められた回数（65-70 回）に固定される。などです。

当院では 3 月から新しい CT 機械が導入され、以前より CT の撮影時間が短くなり、それに伴いペースメーカー一部にスキャン装置が 4 秒以上留まることはなくなりました。しかし念のために、胸部 CT 検査を受ける場合には、心電図モニターをつけて異常がないか観察するようにいたしました。また撮影後 1 ヶ月以内に、ペースメーカーチェックを受けていただくことにいたしました。このチェックは 6 ヶ月ごとのチェックとは異なりますので、定期チェックは今までどおりを受けていただくこととなります。胸部の CT を受ける際には必ず医師や技師、看護師にペースメーカーを植え込んでいることを伝えてくださるようお願いいたします。